加工図CALS

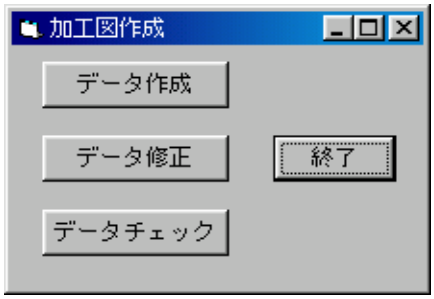
鉄筋に寸法線をつけ、鉄筋種別記号などを描きます。

この”加工図”コマンドは、現在、下記の説明書より新しくなっています。基本的な操作は同じなので、この説明書を参考にしながら操作して下さい。

操作手順① ー 加工図作成

加工図を描く。

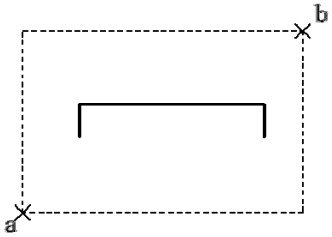
1）『加工図.exe』を開きます。



左図のような対話ボックスが表示されますので、「データ作成」ボタンをクリックします。

2）領域の１点目（点ａ）を指示して下さい。

領域を構成する図形を矩形領域で囲って選択します。
点ａでマウスの左ボタンをクリックするか、キーボードから座標を入力して下さい。



3）領域の対角点領域の対角点（点ｂ）を指示して下さい。

点ｂでマウスの左ボタンをクリックするか、キーボードで座標を入力して下さい。

下のようなダイアログボックスが画面に表示されます。

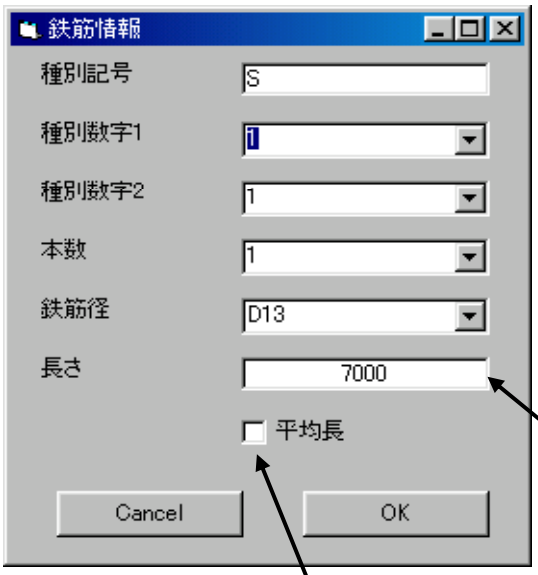
指定した領域の図形でよければ、完了 ボタンを押すか、マウスの左ボタンをクリックします。領域を追加・除外する場合は、マウスの右ボタンを押して、追加・除外します。

選択した図形を取り消す場合は、取消 ボタンを押して、選択し直します。

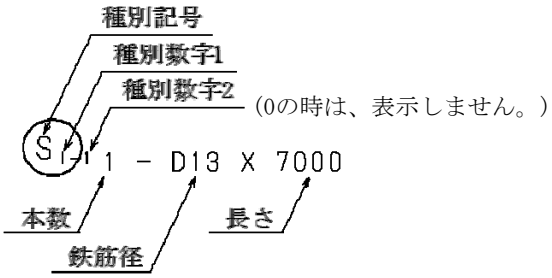
注意！

異縮尺を使っている場合は、図面情報（画面左上に表示）で設定されている縮尺をもとに鉄筋長を計算するので、加工図が描かれている縮尺と図面情報の縮尺を合わせてから、「加工図」コマンドを使用して下さい。

4）「選択完了」したら・・・



左図のような対話ボックスが表示されます。
各項目に入力します。



計測した長さmm単位（cm単位で切り上げ）
（平均長を手動で入力できます。）

複数の鉄筋の平均長と表示する
場合にチェックします。

すべての項目に入力（確認）が完了したら、ＯＫ ボタンを押して下さい。

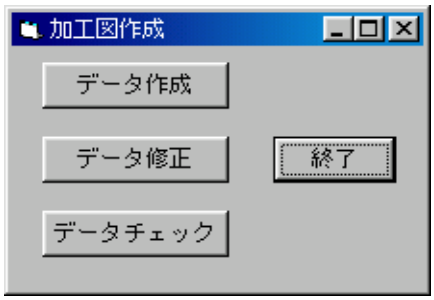
左図のような対話ボックスが表示されますので、
「寸法線」の配置位置を指定して下さい。

左図のような対話ボックスが表示されますので、
「引き出し線」の配置点を指定して下さい。

「引き出し線」の配置位置がよければ、
はい を押して下さい。

上記の　2）～4）の作業を必要な鉄筋の分だけ
繰り返します。

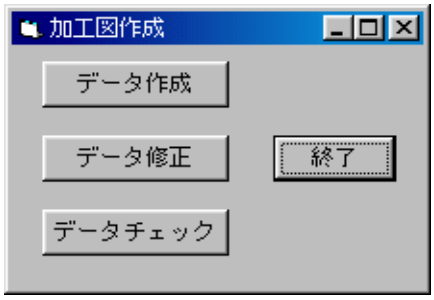
5）「加工図」コマンドを終了するときは・・・



左図のような対話ボックスの
「終了」ボタンをクリックします。

操作手順② ― 加工図修正　　すでに描いてある加工図を修正する。

1）『加工図.exe』を開きます。

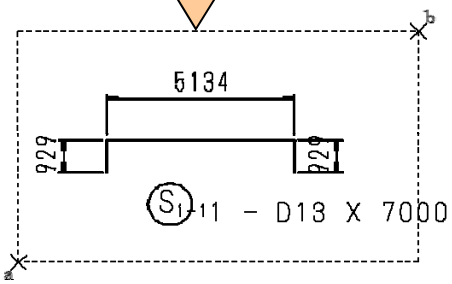


左図のような対話ボックスが表示されますので、「データ修正」ボタンをクリックします。

一度描いた加工図は、属性をもったグループになっているので、加工図の一部を選択するだけでもOKです。

2）領域の１点目（点ａ）を指示して下さい。

領域を構成する図形を矩形領域で囲って選択します。
点ａでマウスの左ボタンをクリックするか、キーボードから座標を入力して下さい。



3）領域の対角点領域の対角点（点ｂ）を指示して下さい。

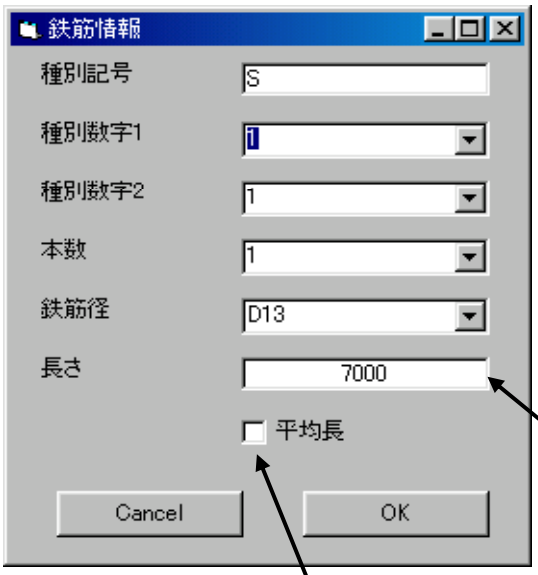
点ｂでマウスの左ボタンをクリックするか、キーボードで座標を入力して下さい。

下のようなダイアログボックスが画面に表示されます。

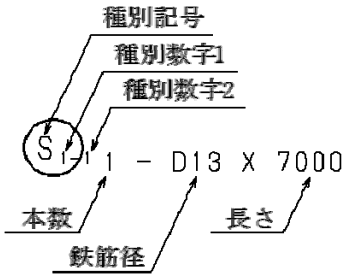
指定した領域の図形でよければ、完了 ボタンを押すか、マウスの左ボタンをクリックします。領域を追加・除外する場合は、マウスの右ボタンを押して、追加・除外します。

選択した図形を取り消す場合は、取消 ボタンを押して、選択し直します。

4）「選択完了」したら・・・



左図のような対話ボックスが表示されます。
各項目に入力します。

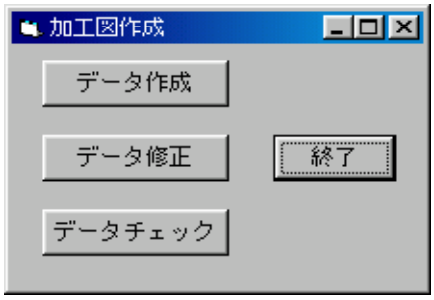


計測した長さmm単位（cm単位で切り上げ）
（平均長を入力できます。）

複数の鉄筋の平均長と表示する
場合にチェックします。

すべての項目に入力（確認）が完了したら、ＯＫ ボタンを押して下さい。

5）「加工図」コマンドを終了するときは・・・



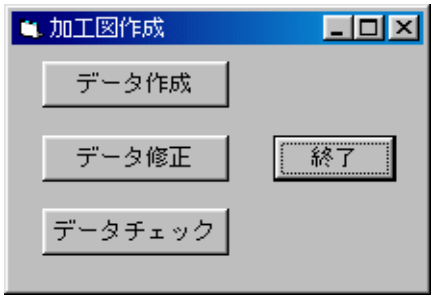
左図のような対話ボックスの
「終了」ボタンをクリックします。

ポイント

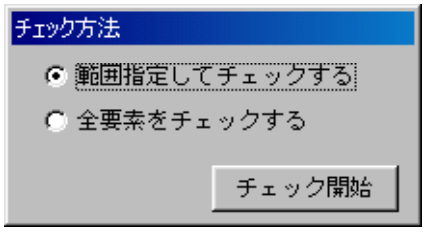
このコマンドで加工図の**データ**は修正できますが、図形（寸法値・鉄筋線の長さなど）は修正されませんので、手動で修正して下さい。また、鉄筋表も修正されませんので、再度作図して下さい。

操作手順③ ー データチェック　すでに描いてある加工図の属性を破棄（グループ解除）します。

１）『加工図.exe』を開きます。

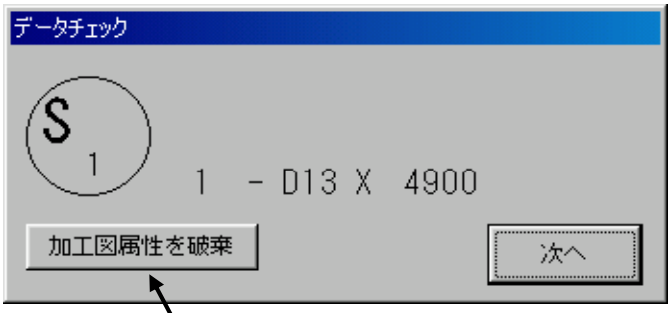


左図のような対話ボックスが表示されますので、「データチェック」ボタンをクリックします。



左図のような対話ボックスが表示されますので、どちらかを選択して「チェック開始」ボタンをクリックします。（「全要素をチェックする」を選択した場合、少し時間がかかります。）

下のような対話ボックスが表示されますので、加工図の属性を破棄（解除）する場合は、「加工図属性を破棄」ボタンをクリックして下さい。



「加工図属性を破棄」とは・・・

「加工図.exe」で作成した加工図は、属性をもっている（グループ化）のでその属性を破棄（グループ解除）するという操作です。
（この操作後は、鉄筋線や寸法線などはそれぞれに分かれた要素になっています。）